

漢文の書き下し文 語順と文語を整える

使い方

返り点・送り仮名を読み取り、文語の形を保って書き下します。現代語訳との違いも説明できるようにしましょう。

取り組み方

訓点は教材作成者が付けたものです。送り仮名は平仮名にし、返り点は残しません。歴史的仮名遣いを用います。句読点の有無や「之／これ」など同じ読み・意味の表記は、別の指定がなければ許容します。

四つのセット

A・B・Cは練習用で、採点欄や配点を設けていません。Dだけが8問・100点の確認テストです。各セットはページをまたぎます。セットの全8問を解いてから答え合わせをしましょう。

A 基本の書き換え

名前 _____

全8問 | 目安 15分 | 練習用

語順と表記を確かめます。
小さな数字は元の位置。訓点は教材で追加。選択は記号に○。

問1 書き下し文として適切な説明を一つ選びなさい。

- ア 漢字を元の順番のまま写した文
- イ 訓点に従って日本語の語順にし、文語で書いた文
- ウ 意味を現代の言葉だけで説明した文
- エ 漢字を全て音読みにした文

1 ム
2 レ
読書

問2 左の漢文を、送り仮名を平仮名に直して書き下しなさい。

教材で訓点を付けた漢文 | 教材用作例

1 ズ
2 レ
3 レ
不見月

問3 左の漢文を書き下しなさい。

教材で訓点を付けた漢文 | 教材用作例

1 ム
2 ー
3 ー
讀古書

問4 左の漢文を書き下しなさい。

教材で訓点を付けた漢文 | 教材用作例

A 基本の書き換え

名前

全8問 | 目安 15分 | 練習用 つづき

小さな数字は元の位置。訓点は教材で追加。選択は記号に○。

問5 書き下し文にするときの処理として正しいものを一つ選びなさい。

- ア レ点も一二点も文中に書く
- イ 送り仮名を全て消す
- ウ 返り点を取り除き、送り仮名を平仮名にする
- エ 不などの打消しも必ず消す

1
2
3

吾
会
友

フ
ニ

問6 左は「吾（われ）、友に会ふ。」と読みます。歴史的仮名遣いを保って、書き下し文を書きなさい。

教材で訓点を付けた漢文 | 教材用作例

問7 書き下し文「古書を読まず。」に対応する現代語訳を一つ選びなさい。

- ア 古い本を読まない。
- イ 古い本を読んではいけない。
- ウ 古い本を読もう。
- エ 古い本を読んだ。

1
2
3
4
5

学
而
時
習
之

ビ
テ
ニ
フ
ヲ

問8 左の例では「而」は独立して読みません。このような字を何といいますか。

教材で訓点を付けた漢文 | 『論語』学而第一 1・1

B 論語の短い文を読む

名前 _____

全8問 | 目安 20分 | 練習用

語注を使い、書き下しと内容を結び付けます。

小さな数字は元の位置。訓点は教材で追加。選択は記号に○。

1 学^ビ
2 而^テ
3 時^ニ
4 習^フ
5 之^ヲ

問1 左の漢文を書き下しなさい。「習」は「ならふ」、「之」は「これ」と読みます。

教材で訓点を付けた漢文 | 『論語』学而第一 1・1

問2 「学びて時に之を習ふ。」の「之」は何を指しますか。語注を手がかりに答えなさい。
語注：時に＝折にふれて。習ふ＝繰り返し学ぶ。

問3 「学びて時に之を習ふ。」の現代語訳として最も適切なものを選びなさい。

- ア まだ学んでいないことだけを考える。
イ 学んで、折にふれてその内容を繰り返し学ぶ。
ウ 決まった時刻に必ず友達に教える。
エ 学んだことを二度と振り返らない。

B 論語の短い文を読む

名前 _____

全8問 | 目安 20分 | 練習用 つづき

小さな数字は元の位置。訓点は教材で追加。選択は記号に○。

1 温 ネテ
2 故 キラ
3 而
4 知 ル
5 新 シキラ

問4 左の漢文を書き下しなさい。「温」は「たづぬ」、「故」は「ふるし」と読みます。

教材で訓点を付けた漢文 | 『論語』為政第二 2・11

問5 「故きを温ねて新しきを知る。」を「古いものを温かくして、新しいものを知る。」と訳した人がいます。語注に合わせて直しなさい。

語注：故き＝以前に学んだこと。温ぬ＝繰り返し学び直す。

1 学 ビテ
2 而
3 不 ザレバ
4 思 ハ
5 則 チ
6 罔 シ

問6 左の漢文を書き下しなさい。「罔」は「くらし」と読みます。

教材で訓点を付けた漢文 | 『論語』為政第二 2・15

B 論語の短い文を読む

名前 _____

全8問 | 目安 20分 | 練習用 つづき

小さな数字は元の位置。訓点は教材で追加。選択は記号に○。

1 思 ヒテ
2 而
3 不 ザレバ
4 学 バ
5 則 チ
6 殆 シ

問7 左の漢文を書き下しなさい。「殆」は「あやふし」と読みます。

教材で訓点を付けた漢文 | 『論語』為政第二 2・15

問8 二つの文「学びて思はざれば則ち罔し。思ひて学ばざれば則ち殆し。」から、学ぶことと思考の関係を説明しなさい。

語注：罔し＝はっきり理解できない。殆し＝考えが独りよがりになり危うい。

C 誤り直しと説明

名前 _____

全8問 | 目安 25分 | 練習用

置き字や歴史的仮名遣いを点検します。再読文字は「未」の基本だけ扱います。

小さな数字は元の位置。訓点は教材で追加。選択は記号に○。

1 不^ズ
2 レ^マ読
3 古
4 書^ヲ

問1 左の漢文を「古書を読むず。」と書き下しました。正しく直しなさい。

教材で訓点を付けた漢文 | 教材用作例

問2 「学而時習之」の書き下し文を「学びて而時に之を習ふ。」としました。不要な一字を指摘し、理由を答えなさい。

問3 「故きを温ねて新しきを知る。」と「昔に学んだことを学び直し、新しい理解を得る。」は、どちらが書き下し文で、どちらが現代語訳ですか。

1 未^ダ
2 レ^(ズ)学^バ

問4 左の「未」は再読文字です。初めに「いまだ」、後で「ず」と読みます。この説明を使って書き下しなさい。

再読文字の基本例 | 教材用作例

C 誤り直しと説明

名前 _____

全8問 | 目安 25分 | 練習用 つづき

小さな数字は元の位置。訓点は教材で追加。選択は記号に○。

問5 前の問題の「未だ学ばず。」を「まだ学んでいない。」と訳します。この読み方が、単純なレ点の読み方と違う点を答えなさい。

問6 「思ヒテ」「習フ」「会フ」の片仮名を平仮名に直して、歴史的仮名遣いの形を三つ書きなさい。

問7 「不」はいつでも書き下し文から消せばよい、という説明は正しいですか。「不読書」を例に理由も答えなさい。

問8 「学びて時に之を習ふ。」の「之」を「これ」と書く答案を誤りとしなのはなぜですか。読みと意味に触れて説明しなさい。

D 定期テスト対策

名前

全8問 | 目安 25分 | 100点

8問・100点。点数が付くのはDだけです。

小さな数字は元の位置。訓点は教材で追加。選択は記号に○。

1
2
3

不
レ
読
レ
書

ズ
マ
ヲ

問1〔10点〕 左の漢文を書き下しなさい。

教材で訓点を付けた漢文 | 教材用作例

1
2
3
4

吾
見
二
明
月

ル

問2〔10点〕 左の漢文を書き下しなさい。「吾」は「われ」、「明月」は「めいげつ」と読みます。

教材で訓点を付けた漢文 | 教材用作例

1
2
3
4

不
レ
忘
二
父
母

ズ
レ

問3〔15点〕 左の漢文を書き下しなさい。

教材で訓点を付けた漢文 | 教材用作例

問4〔10点〕 「温故而知新」の「而」は、この教材の訓読では独立して読みません。この種の字の名称を答えなさい。

D 定期テスト対策

名前 _____

全8問 | 目安 25分 | 100点 つづき

小さな数字は元の位置。訓点は教材で追加。選択は記号に○。

問5〔10点〕 「学びて思はざれば則ち罔し。」の「思はざれば」を、現代語に直しなさい。

1 人
2
3 レ 知 ズシテ
4
5 而 ズ
6 レ 不 慍 ミ

問6〔15点〕 左の漢文を書き下しなさい。「慍」は「うらむ（心の中で腹を立てる）」と読みます。

教材で訓点を付けた漢文 | 『論語』学而第一 1・1

問7〔10点〕 「古書を読む。」を「古い本を読む。」と書き換えた文は、書き下し文・現代語訳のどちらを意図したものですか。「古書」という語の扱いに触れて答えなさい。

問8〔20点〕 「未だ学ばず。」と「学ばず。」の意味の違いを、「まだ」という語を使って説明しなさい。

得点 _____ / 100点

解き直した日 _____ 月 _____ 日